

■グリーンコープでんき

・グリーンコープでんきの契約数は、6月7日現在、生協事業所やGC商品のお取引先も含め、下表のとおりです。(※供給開始前含む)

単協	契約件数	契約容量(kW)
GC生協おおさか	52	225kW
GC生協ひょうご	22	109kW
GC生協とっとり	36	149kW
GC生協(島根)	57	228kW
GC生協おかやま	71	284kW
GC生協ひろしま	94	413kW
GCやまぐち生協	564	2,317kW
GC生協ふくおか	1,761	7,312kW
GC生協さが	94	440kW
GC生協(長崎)	132	545kW
GC生協くまもと	463	2,072kW
GC生協おおい	271	1,100kW
GC生協みやざき	132	470kW
GCかごしま生協	212	900kW
事業所向け(低圧)	9	41kW
事業所向け(高圧)	52	4,244kW
合計	4,022	20,849kW

■「先月こんなに電気を使ったかしら」と思ったら、まず利用日数を確認!

- ・電気料金は、前回検針日から今回検針日の前日までの電気使用量で計算されます。
- ・この使用日数は、月ごとに変ります。
- ・そのため、前月分や前年分と電気の使用量を比較するときは、利用日数も考慮して1日あたりの使用量をみないと比較できません。
- ・例えば、3月検針分の利用期間は28日だったのに4月検針分の利用期間は34日だったりもします。
- ・また電気料金には、原油価格などに連動する燃料調整額や再エネ賦課金が含まれます。
- ・再エネの普及に伴い再エネ賦課金単価が昨年よりも0.26円/kWh高くなり、燃料調整単価も昨年同時期と比べマイナス幅が約0.6円/kWh円ほど小さくなっています。
- ・そのため、昨年に比べると電気料金単価は高くなっています。これは、どこの電力会社でも基本同じです。

■5月にお届けした電気の電源は?

- ・関西電力エリア…大阪府のふたつの清掃工場(燃料:一般ゴミ)
- ・中国電力エリア…島根県のバイオマス発電所(燃料:木材チップ)5%と清掃工場(燃料:一般ゴミ)95%。
- ・九州電力エリアは福岡県、鹿児島県、兵庫県の清掃工場(燃料:一般ゴミ)計3ヶ所で、それぞれ57%、30%、23%の構成比以上の電源でお届けしました。

■市民発電所

・グリーン・市民電力が保有している発電所の2017年4月から2018年3月までの実績です。6箇所の発電所は順調に稼働しています。

発電所	出力(kW)	発電量(kWh)	売電額(円)
神在太陽光発電所	1,057	1,314,950	52,598,000
平池水上太陽光発電所	1,260	1,636,168	58,902,048
深年太陽光発電所	1,550	800,676	28,824,336
若宮物流センター	47	52,262	1,933,694
広島物流センター	47	57,768	2,137,416
やまぐち西部地域本部	54	58,113	1,917,729
合計	4,015	3,919,937	146,313,223

■グリーン電力出資金

・皆さんから出資いただいたグリーン電力出資金の総額(実際に振り込んでいただいた額)は、8億4,287万円になりました。

・また、出資目標額(積み立て目標額)は、5月25日現在で10億9,495万円となりました。

生協名	申込人数	申込件数	出資目標額
GC生協おおさか	226	253	18,340,000
GC生協ひょうご	105	127	8,716,000
GC生協とっとり	140	151	10,950,000
GC(島根)	219	225	11,340,000
GC生協おかやま	157	171	12,050,000
GC生協ひろしま	665	758	70,785,000
GCやまぐち生協	610	703	44,510,000
GC生協ふくおか	5,305	5,981	519,404,000
GC生協さが	329	365	43,915,000
GC生協(長崎)	587	645	57,215,000
GC生協くまもと	1,509	1,693	125,569,000
GC生協おおい	792	874	69,884,000
GC生協みやざき	304	338	27,315,000
GCかごしま生協	707	775	74,952,000
合計	11,655	13,059	1,094,945,000

・グリーン電力出資金は、市民発電所の建設費用などの一部に充てています。

・2018年5月末の支出総額は8億1,115万円で、残高は3,172万円となっています。

・市民発電所の建設について、継続して調査や検討をすすめていますので、今後ともグリーン電力出資へのご参加をよろしくお願いいたします。

これまで出資いただいた金額	842,868,000
これまで支出した事業と金額	811,148,221
神在太陽光発電所、平池水上太陽光発電所、深年太陽光発電所、若宮物流センター、広島物流センター、やまぐち西部地域本部、豊浦太陽光発電所、馬洗瀬小水力発電所、杖立温泉熱バイナリー発電所(建設中)なわ小水力発電所(建設中)、しましま小水力発電所(準備中)、霧島太陽光発電所(準備中)、熊本菊池太陽光発電所、国東第二自然電力太陽光発電所	
グリーン電力出資金の残高	31,719,779



♣グリーン電力出資金出資者の皆様
♣グリーンコープでんき利用者の皆様

グリーンコープでんき通信 VOL.12

2018年6月25日発行
一般社団法人グリーン・市民電力



視察報告

見てきました! 東京電力福島第一原子力発電所

グリーンコープが、市民発電所づくりや「グリーンコープでんき」の小売事業を通して、原発のない社会をめざしていこうとする中で、とても大事にしていることがあります。それは、32年前のチェルノブイリ原発事故や2011年の福島第一原発事故のことを忘れない、そのためには現地に思いをはせる、ということです。

特に、日本での苛酷な事故を起こした原発は今どうなっているのか、福島の人々への放射能の影響はいかばかりか、などに関心を寄せてきました。

原発事故から7年経った4月10日、福島第一原発を視察できる機会があり、現地に行ってきました。視察報告は、今後シリーズで掲載していきます。

今回の視察は、一般財団法人ふくしま自然エネルギー基金の代表理事佐藤彌弥右衛門さん、環境エネルギー政策研究所所長飯田哲也さんの尽力を得て、実現しました。視察メンバーは、ふくしま自然エネルギー基金の肩書で、総勢22人で視察に行きました。



福島第一の至る所に
除染土の仮置き場がある



帰還困難区域(6号線)は今でも地震で壊れたままの状態では放置されている。しかも、線量が高いため、人が侵入できないようバリケードが張られている。

原発に向かう6号線沿いにある線量計。数値は2.409μSv/h



第一原発内にある作業員の休憩棟。作業環境は格段に良くなっていると言える。

敷地内はアスファルトが敷き詰められ、放射線の影響を遮断されている。

原発敷地に入る前に丁寧な説明を受ける。一部の線量が高いところを除いて、防護服なしで大丈夫とのこと。

第六期 一般社団法人グリーン・市民電力定時社員総会 報告

<日時：2018年5月30日（水）10時50分／場所：大博通ビルディング>

一、2018年度活動報告

(1) グリーンコープでんきの利用を広げながら、脱原発の取り組みをすすめてきました。

1. 運動の視点から電気の利用につなげられるように、今年度は、各単協で映画の上映会（「日本と原発」「日本と再生」）が取り組まれました。
2. 21会場で上映され、1,356名の方に視聴いただきました。
3. グリーンコープでんきの利用者、グリーン電力出資金の出資者へ、グリーンコープでんき通信(会報誌)を発行してきました。
4. 配布部数は、10号現在13,710(内でんき契約者3,686名)となっています。
5. 託送料の問題について、託送料検討委員会による検討を行ってきました。託送料がどのように決められ、その実態がどうなっているのか、九州電力の有価証券報告書の調査、九州電力や関西電力への質問状や訪問による調査などに取り組んでいます。これらの検討の様子について、グリーンコープでんき通信を通して、発信しています。
6. グリーンコープでんきの利用者について、これまで10,000人を目標に取り組んで来ましたが、まだ達成することができていません。
7. 3月末現在の契約数は、約3,900名となり、何とか4,000名がみえるところまでできましたが、全体の契約率は、まだ0.9%にとどまっています。
8. グリーンコープでんきの利用者を更に広げていけるように、各現場で取り組んでいる職員・ワーカーズの皆さんを対象に、2月3日（土）、初めてグリーンコープでんき決起集会を開催し、161人が参加しました。
9. この決起集会では、飯田哲也氏による講演の他、福島現地の様子の紹介、グリーンコープの脱原発の取り組みの歴史、実践報告、分散会、託送料の問題と今後の取り組みの紹介など企画しています。
10. 取り扱いが遅れていた高圧電力については、12月から取り扱いを開始しました。対象は、グリーンコープの事業所や

グリーンクラブの会員（お取引先）など、現在、39件の契約となっています。まだ取り扱いができていない低圧動力については、2018年度取り扱いを予定します。

(2) 原発フリーでグリーンコープ電気を供給していただくことができました。

1. 今年度、電力を供給してきた発電所は、次の通りです。
 - ①大阪府の清掃工場②高知県の清掃工場③島根県のバイオマス発電所（木材チップ）④福岡県の清掃工場⑤鹿児島県の清掃工場
2. また、インバランス電力についても、バランシンググループ内で調整いただくことができ、大手電力会社の電力を使わずに供給することができました。
3. 一方で、市民発電所で発電した電気については、まだグリーンコープでんきに組み込むことができていません。

(3) 遊学舎は、地道に地域への広がりをめざして取り組みをすすめています。

1. 地域に根差した拠点になることをめざして、2014年12月に遊学舎運営委員会が立ち上がり、取り組みを開始しました。
2. 少しずつ、地域の中での存在が意識されるようになってきています。
3. 今後はもっと地域に浸透していくことが重要だということ意識するようになり、地域に足場がある地域住民が登場してくるようになってきている状況もあります。
4. 2017年度は、運営委員会を解散し、現在は、遊学舎事務局が中心となって、地道に地域への広がりをめざして取り組みをすすめています。
5. 取り組み企画は、これまで遊学舎に足を運んでくれた人たちがリピーターとして継続的に参加する取り組みや、グリーンコープの組合員対象の取り組み、地域住民を主体とした取り組みなど、安定的に提案ができるようになってきています。



二、2017年度決算報告

(1) 事業概況

1. 収入は、新電力事業による電力小売収入、発電事業による売電収入、遊学舎の事業収入、社員からの会費収入となっています。
2. 電力小売収入は、契約件数が伸びず、予算に対して95.5%でした。
3. 売電収入は、順調の伸び、予算に対して109.5%でした。
4. 遊学舎の事業収入は、予算に対して84.4%でした。
5. 経費では、福利厚生費、車両費、修繕費、租税公課などが大きく予算を上回り、反対に、広報費、衛生費、水道光熱費、保険料、会議費、企画材料費などが大きく予算を下回っています。
6. また、これまで請求書発生月で計上していた電力仕入高を、実際に電力を供給した月での計上へと補正し、月次で電力の売上げとそれにかかる仕入れがきちんと連動して適正に表示ができるようにしました。
7. 以上により、2017年度の経常利益は、-23,446,900円（税引後-30,793,100円）となりました。

(2) 損益計算書

科目	本部・発電	新電力	遊学舎	合計
1.売上高	148,654,436	416,541,736	1,671,763	566,867,935
売上高	147,884,436	416,541,736	75,173	564,501,345
会費収入	770,000	0	0	770,000
利用収入	0	0	58,181	58,181
企画収入	0	0	214,270	214,270
販売収入	0	0	1,324,139	1,324,139
2.仕入高	0	260,056,762	0	260,056,762
3.経費合計	95,093,319	222,299,734	8,630,297	326,023,350
4.営業利益	53,561,117	-65,814,760	-6,958,534	-19,212,177
5.事業外収益	5,332,664	0	35,846	5,368,510
受取利息	4,973,149	0	0	4,973,149
雑収入	359,515	0	35,846	395,361
6.営業外費用	9,603,233	0	0	9,603,233
支払利息	9,603,233	0	0	9,603,233
7.経常利益	49,290,548	-65,814,760	-6,922,688	-23,446,900
8.法人税等				-7,346,200
9.当期純利益				-30,793,100

三、2018年事業計画・予算

(1) 事業計画

1. グリーンコープでんきの利用を広げ、新電力事業の損益改善をすすめます。
2. 原発フリーのグリーンコープでんきを安定的に供給できるように取り組んでいきます。
3. 原発を取り巻く状況や託送料の問題など

について、グリーンコープでんき利用と共有しながら、脱原発の取り組みを推進していきます。

4. あらたに熊本復興ソーラー事業を立ち上げ、熊本復興に貢献できるようにすすめていきます。

(2) 収支予算

1. 今年度は、新たに熊本復興ソーラー事業を立ち上げています。この収益の一部を復興のための資金として拠出できるようにします。
2. 売上高は、電力小売事業と発電事業、熊本復興ソーラー、遊学舎の事業収入を計上しています。
3. 発電事業では、太陽光発電による売電収入を計上しています。
4. 熊本復興ソーラー事業では、10箇所の太陽光発電設備を設置し、その売電収入を計上しています。
5. 2018年度税引前当期剰余金として、26,603,576円（税引後15,069,685円）を予算とします。

科目	本部・発電	熊本復興	新電力	遊学舎	合計
1.売上高	175,342,217	5,449,372	709,379,998	1,665,152	891,836,739
売上高	174,522,217	5,449,372	709,379,998	71,979	889,423,566
利用収入	0	0	0	63,255	63,255
企画収入	0	0	0	199,824	199,824
販売収入	0	0	0	1,330,094	1,330,094
会費収入	820,000	0	0	0	820,000
2.仕入高	0	0	400,552,387	0	400,552,387
3.経費合計	124,326,597	3,558,177	320,909,356	8,630,692	457,424,822
4.営業利益	51,015,620	1,891,195	-12,081,745	-6,965,540	33,859,530
5.営業外収益	4,170,000	0	0	0	4,170,000
6.営業外費用	10,885,773	450,181	90,000	0	11,425,954
支払利息	10,885,773	450,181	90,000	0	11,425,954
7.経常利益	44,299,847	1,441,014	-12,171,745	-6,965,540	26,603,576
8.法人税等	-	-	-	-	-11,533,891
9.当期純利益	-	-	-	-	15,069,685

四、理事及び監事任期満了による改選

1. 今回の定時社員総会は、役員改選期にあたります。
2. 社員の推薦する候補者より役員改選を行い、次の理事、監事を選任しました。

【理事】

熊野千恵美、片岡宏明、行岡良治、東原晃一郎、大橋年徳、山田由美、反岡佐千代、三原幸子、高濱千夏、下本地紀子

【監事】

西村大輔、小笠原好人